

For the future



令和8年7月17日第1号
東京都立多摩桜の丘学園
校長 西田 良児
発行 進路指導部

※フォーザフューチャー：未来に向けて挑戦する児童・生徒を励ます気持ちを込めた進路だよりの愛称です。

進路だより「For the future（フォーザフューチャー）」は将来の生活に向けて、児童・生徒がそれぞれの学部で学んでいることの紹介や、進路に関する情報提供など、学校生活と社会生活をつなぐ一助になるように発行していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

進路指導部教員紹介

御質問や御相談などがありましたら、お気軽に学部の担当までお寄せください。

今年のテーマは「意思決定を支える」

今年度の「For the future」では、「意思決定」について考えていきたいと思います。

進路選択だけでなく、将来の自分らしい生き方を選んでいくためにも、「選ぶ力」と「伝える力」が大切です。「選ぶ力」については保護者会の中で4つの柱を紹介しました。

選択する力を育てる4つの柱

①選んでみる経験（成功体験）

小さい選択ほど成功しやすく、経験値が増える。自分で「選んだ！」という感覚を育てる。「どの色のペンを使う？」「どの勉強から始める？」「どのお皿を使って食べる？」

③比較する練習をする

「どっちが好き？（好み）」「どちらが自分に合っている？（経験からの判断）」ただし、「理由を言うこと」は目的ではない。

②選ぶための材料（選択肢）がある

選択肢があると判断しやすい。実物・写真カード・実際の体験（いろいろな経験・高等部生の「現場実習」）などの「選ぶためのツール」が有効

④自分の選択を肯定してもらえる経験

「いい選択だね！」「（うまくいなくても）決めたことがすばらしいよ！」など、肯定されることで次の選択に挑戦できる。



「意思の伝え方」については言葉、文字、サイン、カード等一人一人違いますし、「その人なりの手段」を見つけていくことが大切です。「意思を伝えようとする気持ち」は日々の生活、経験の中から育てていくことができます。同時に本人の周りの支援者が、「伝えてくれることに気づく」、「見つける」ことも大切です。

ちょっとご紹介・意思決定を支援する仕組み

意思決定支援に関係するお話です。18歳で成人になると、卒業後の福祉サービスや金銭管理などは本人主体になり、本人が契約を結ぶことになります。もちろん成人後も本人の意思を確認しながら家族が手続きを補助したり、金銭管理を手伝ったりすることはありますが、保護者の方からは将来的にと

うなるかという不安をお聞きすることがあります。その時に力になってくれる制度をご紹介します。

(1) 成年後見制度

成年後見制度は一人で契約やお金の管理を行うことが難しい方の権利や財産を守るための制度です。家庭裁判所が選任した成年後見人等が、本人の意思を尊重しながら、福祉サービスの利用契約や財産管理などを支援します。成年後見制度には、「法定後見制度」と「任意後見制度」の二つがあります。法定後見制度は、すでに判断能力が十分ではない場合に家庭裁判所が後見人等を選任する制度です。一方、任意後見制度は、将来に備えて、本人が十分な判断能力をもっているうちに支援する人を決めておく制度です。

法定後見制度には、本人に代わって契約や財産管理を行う「後見」、重要な契約などに同意し、支援をする「保佐」、本人の意思を尊重しながら必要な範囲で支援する「補助」の3種類があり、「後見」がもっとも広い範囲で支援を受けることになります。

(2) 日常生活自立支援事業

一人で福祉サービスの利用手続きやお金の管理を行うことに不安がある方を支援する制度です。社会福祉協議会が中心となって実施しており、本人が地域で安心して生活できるようサポートしてくれます。支援内容には、福祉サービスの利用手続きの援助、福祉サービスに関する情報提供や相談、年金や福祉手当の受け取り、公共料金の支払いなどの日常的な金銭管理があります。また、通帳や印鑑などの大切な書類を預かるサービスを利用できる場合もあります。

この事業は、本人に一定の判断能力があり、支援内容を理解して利用契約を結ぶことができる方が対象です。そのため、判断能力が十分でなく、重要な契約や財産管理を行うことが難しい場合には、成年後見制度の利用が適していることもあります。

それぞれの制度にメリットと注意すべき点があります。大切なのは、お子さんの将来の生活を見据え、将来的にどのような支援が必要かを考えておくことです。成年後見制度や日常生活自立支援事業は、本人の権利を守るための選択肢の一つとして知っておきたい制度です。

明日から夏休みです。

いよいよ明日から夏休みになります。よく「夏休みは日頃できない経験をするチャンスです」と言ったりします。もちろん、海に行ったり山に行ったりと遠くに出かけたりすることも「日頃できない経験」ですが、普段の生活の中にもチャンスはあります。例えば新しいお手伝いに挑戦するにも時間がたくさんとれる夏休みはぴったりです。また、バスや電車の利用経験をつめば、将来の一人通学の練習にもつながっていきます。ヘルパーさんとお出かけしたり、学期中よりも長い時間放課後等デイサービスで仲間と過ごしたりすることも、人との関わりを広げるチャンスです。夏休みの普段の生活もキャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）につながっています。



進路見学に参加される保護者の方へ

夏季休業期間中の進路見学へのお申し込み、ありがとうございました。当日の御連絡は御案内に記載しております「学校携帯電話」までお願いいたします。

次回「For the future」は9月に発行予定です。

